

つどい

第15号

発行日：令和6年8月

こんにちは！野木町交流センター「野木ホフマン館」です。
今回の「つどい第15号」でお届けするのは、概ね次のとおりです。

- 野木ホフマン館の近況と事業
- 野木町煉瓦窯のおはなしその⑤
- 自然豊かな渡良瀬遊水地その⑭

【野木ホフマン館の近況と事業】

「第6回野木町煉瓦窯春フェスタ」が天候に恵まれ、5月11日（土）・12日（日）に開催されました。多くの方にご来場いただき、煉瓦窯見学ツアー、模擬店、石窯料理体験、レンガ粘土体験、多肉植物寄せ植えなど各ワークショップとも賑わいを見せ、コンテナガーデン展にも多くの方に出展していただき、色とりどりの花が見事に咲き誇り、来場者の目を楽しませていました。ホフマン館バラ園「プロースト」では、バラをはじめ、多種植物の花も色彩豊かに咲き始め、来場者を楽しませていました。6月には多種の紫陽花が咲き、煉瓦窯とのコラボレーションが写真スポットとなっていました。今後も色とりどりの花が見られると思いますので、ご来館お待ちしております。

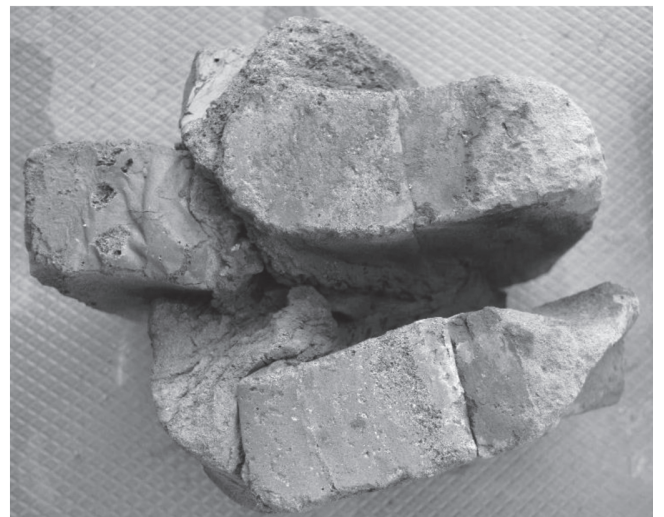
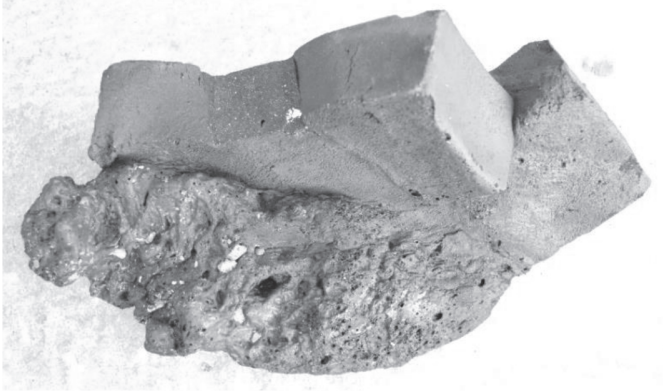


野木町煉瓦窯のおはなし その⑮

ホフマン窯で焼いた大量の製品の中には、焼きむらや割れなどができた不良品がまじることもあります。焼きあがった煉瓦は検査のうえ、不良品を取り除いたり、出来ばえによって段階的に値段をつけたりしていました。

焼きあがった煉瓦は、まず出来上がりの状態ごとに選別されました。割れ・キズの有無や程度、色などを基準に分け、等級をつけます。割れ・キズ・色むら・焦げ・ゆがみが無いほど、見た目がきれいで丈夫なため、値段が高くなりました。

また選別の後、等級ごとにランダムに選んだ煉瓦を製品検査にかけ、寸法が許容範囲内に収まっているか、押しつぶす力に耐える強さは十分にあるか、水を吸い込みすぎないかなどを調べました。煉瓦が一定の品質と強度を持っていることを確認するためです。



焼成中にくっついて変形してしまった煉瓦。大量の煉瓦を焼くと、このような不良品も出るので、選別や検査でのチェックが必要です。



昭和30(1955)年の下野煉瓦における普通煉瓦の等級と、その選別基準は以下のようになっていました。普通煉瓦は焼き上がりの色が赤茶色になりますが、「上焼」は良く焼けているため色が濃く、「並焼」は焼きがやや甘いので上焼より色が薄く見えます。

規格品

- 上焼1等 … 焼き上がりが良く、キズ・割れが極めて少ない
- 上焼2等 … 焼き上がりが良く、キズ・割れが少ない
- 並焼1等 … 焼き上がりが普通で、キズ・割れが極めて少ない

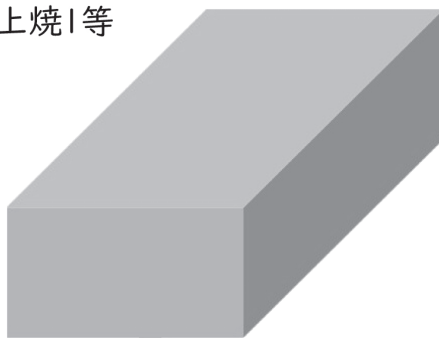
.....

規格外品

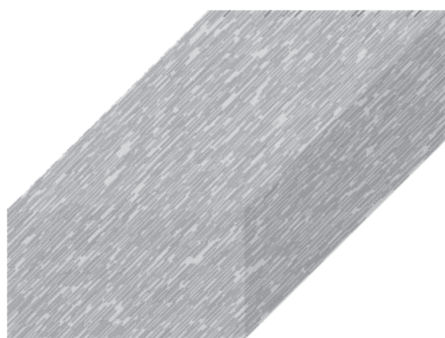
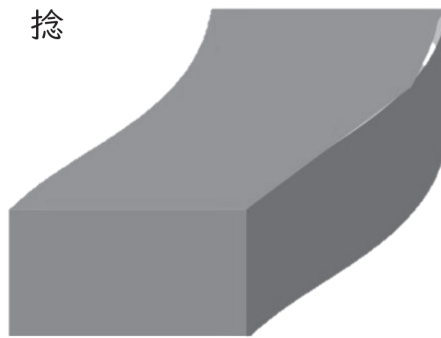
- 並焼2等 … 焼き上がりが普通で、キズ・割れが少ない
- 捻(ねじ) … 焼きすぎているうえ、ねじれているもの
- カラス … 焼き上がりにむらが多い
- ゴロ … 焼き上がりにむらが多く、変形している
- キズもの … キズ、割れがひどいもの

下野煉瓦工業株式会社『煉瓦部 社内規格』昭和30年改正版より要約

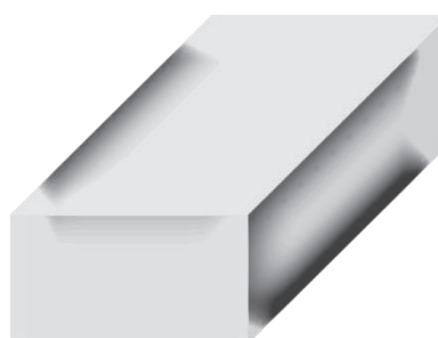
上焼1等



捻



キズもの



カラス

自然豊かな渡良瀬遊水地 その⑭

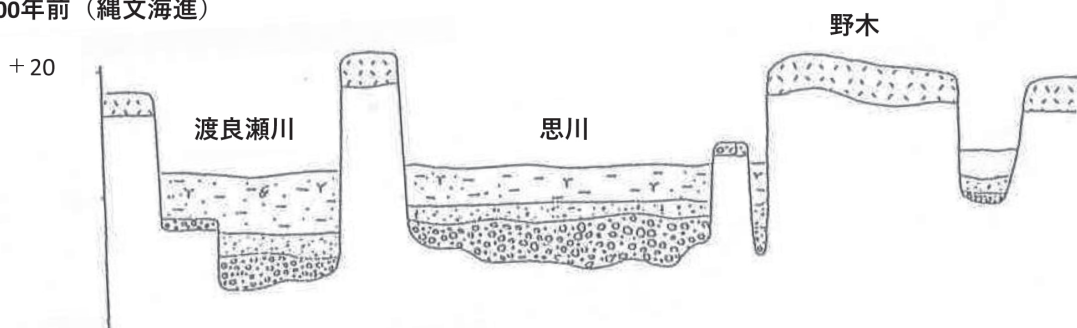
渡良瀬遊水地の生き立ち

渡良瀬遊水地は、海水面の変化や、思川をはじめとする流入河川の堆積や侵食作用、さらにその後の河川改修や土地利用などの人の手による働きかけによって、現在のような多様な自然環境が形成されてきました。

1. 約2万年前の氷河期には、思川や渡良瀬川により15mから20mの侵食谷が形成されました。
2. 約6,000年前の縄文時代の海進期（かいしんき）には、海岸線が上昇し、藤岡台地西縁には篠山貝塚や海老瀬貝塚の生活の跡があり、この付近が当時の干潟であったことを物語っています。
3. この時期（2.）には、思川や渡良瀬川からの土砂が堆積して、思川低地（渡良瀬遊水地）や板倉の低地が形成されました。その後、海岸線も現在の位置にまで後退し、湿地が形成されました。
4. 特に、渡良瀬遊水地の湿地は思川の影響を受けており、大正時代の藤岡台地開削まで、池沼は藤岡側（第1調節池北側、第3調節池）に多く点在していました。
5. 藤岡台地開削後は渡良瀬川からの土砂流失が多く、その影響が大きく赤麻沼、石川沼等は埋没されていきました。

◆渡良瀬遊水地付近の環境変遷横断図の一部

6000年前（縄文海進）



渡良瀬遊水地の近況

渡良瀬遊水地連携捕獲協議会の調査では、渡良瀬遊水地内のイノシシの生息数は、2023年度834頭に上り急増していると分かりました。人的被害等が危惧されています。渡良瀬遊水地内で行われる各種観察会等の実施する場所を考慮し、皆様が安心して参加できるよう状況を把握し、開催したいと思います。ご自身で遊水地に行かれる場合は、イノシシが身を隠しやすいやぶ・ヨシ原等には十分に警戒してください。イノシシとの遭遇は出会いがしがら危険と言われています。

参考文献

「渡良瀬遊水地の時」より
根川上流河川事務所発行

野木町交流センター

（野木ホフマン館）

開館日：火曜日～日曜日

9：00～18：00

（国民の祝日開館、翌平日閉館）

〒329-0114

野木町大字野木3324-10

☎ 0280-33-6667